



昇りゆく朝日を表し
希望と喜びの願いが
こめられている

ほほえみ

第2号 2002年11月



■ふくし祭り



開会宣言〈中島 剛一さん〉

目次

- p 1・2………… ふくしま祭りコーナー
- p 3・4………… デイサービスセンターの一日
- p 5・6………… グループホーム“高森”
- p 7・8………… くらしとしごと
- p 9・10………… こんにちは高森寮さ～ん
- p 11………… ほほえみコーナー

ふくしま祭りコーナー



〈第一回企画会議(8月26日)〉

- ・期日(10月6日(日))
／小雨決行、雨天中止
- ・場所／高森寮敷地内
- ・内容／催し物、バザー、遊具、体験、フリーマーケット、人形劇、外部店舗リサイクルバザー以上で行なうことが決定!

〈臨時職員会議(8月29日)〉

- ・企画会議の決定事項報告
- ・担当者決定
- ・各コーナーの内容検討
などが話し合われました。(全職員参加)

〈チーフ会議(9/10・9/18・9/25・10/1)〉

- ・各チーフより進行状況の説明と協力要請など
(各担当のチーフが参加。業務終了後より開始)



利用者職員総出でテント張り!!
翌日はみんな筋肉痛!?



駐車場作り!!
畑をお借りして草刈りから始めました。



ステージ作り!!
何日も前からコツコツと作り上げて行きました!!



色見小学校の児童さんたち!!
ゴミ箱や看板作りの準備に来て下さいました!!



リサイクルバザーの準備中!!
沢山の商品の値札付けに連夜大騒ぎ!!
町婦人会の方々を中心に沢山の商品を集めることができました。

ご挨拶

「福祉まつり」で思うこと

社会福祉法人立止福祉会
高森寮長 手島 清十

13年前、秋の運動会は施設行事の定番であった。私たちは競技を行う障害者も楽しいはずと思い込んでいた。その頃北海道で実施された施設に暮らす知的障害者に対するアンケート結果にショックを受けた。アンケートのなかで運動会は楽しいですかとの問いに、楽しくないとどちらでもないと答えた人が70パーセント近くに達していた。「一般的に障害を持っている人は走ることが苦手である。まして身体的な重複障害のある人にとっては転倒の恐怖が先にたつのは当然。そんな折、徒競走に参加した厨房職員が転倒して顔に裂傷を負った。50歳代のその職員は走らなければならぬから走っただけで心底楽しんでいただけないような気がした。障害のある人たちは周囲が考えるほど楽しんでないことがわかった。障害者を競わせることはやめよう。

地域の人たちと一緒になって秋の一日を楽しめる行事、平成二年第二回の「ふくしま祭り」はその思いからスタートした。それから13年を重ねた。来場者、規模とも年々盛会になっていくなか、仲間の施設の動員はしない、各種団体のご案内もない、あくまで楽しいからとおいでになる普通の家族の方々を対象にしてきた。福祉や施設に関係のない方々がおいでになってこそ施設理解・障害者理解が進むことに気付いた。

お陰さまで今年の「ふくしま祭り」は昼からの雨にもかかわらず二〇〇〇名の方々においでいただきました。催物、出店など快くご参加いただいた関係各位並びに足を運んでいただきました皆様にも心よりお礼申し上げます。

今後とも「ふくしま祭り」を通して皆様方とひとときの時間の共有ができれば幸いです。

楽しさいっぱい
おいしさいっぱい

ふくしま祭り当日



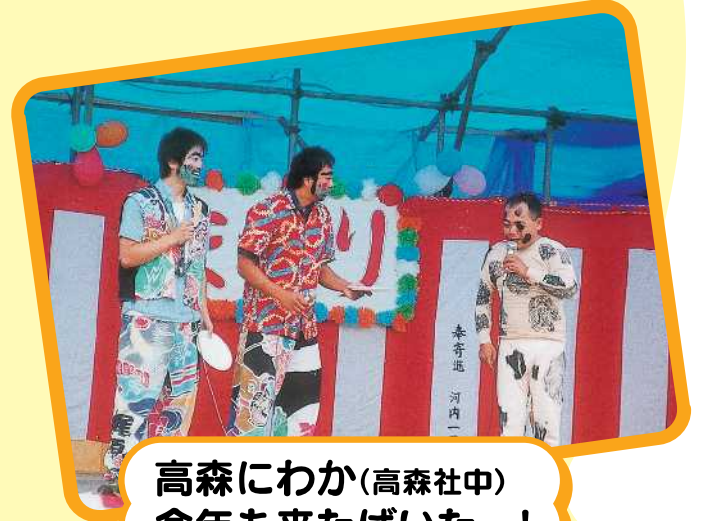
子どもが喜ぶふわふわテント!
今年はビックマくんがやってきた!



フリーマーケット(大人コーナー)



外部からも沢山のバザーが
出ていましたよー!



高森にわか(高森社中)
今年も来たばいたー!

他にも熊商空手や舞踊、カラオケ等
沢山の催物がありました。



毎年恒例の焼そば
「うまいんだなあーこれが!」

他にも地鶏焼き、フライドポテト、カレー
など沢山のバザーがありました。ここで
全部紹介できないのが残念。

このバザーは、沢山のボランティアの方々の
協力あつてのものです!

今年もにぎわいました

デイサービスセンター の一日

AM 10:00

ただいま到着。
今からそれぞれの活動に
参加しまーす。



AM 11:00

ただ今、卵拭き真っ最中。
高森寮の利用者の方とも
会話が弾みます。



わたしは歩行中。

卵パック用のラベル切りに
取組んでまーす。



時には皆さんで花壇の手入れ
なども行います。今日は
苗植え中。



四月一日にスタートしたデイサービスセンターは、現在、十七名の利用申込みがあり、月曜から金曜まで毎日八名の方の受け入れを行なっています。
デイサービスセンターの一日の流れを紹介します。



PM0:00~

待ちに待った昼食時間。
今日のメニューはパスタとおにぎり
納豆サラダに巨峰でした。
う~んデリシャス!!

PM1:00~

昼食後のくつろぎの後は食堂掃除を行います。
自分たちで使ったところは自分たちで美しく!
あっこんなところに汚れが!



PM2:00~

手の空いている方から入浴を行います。
順番は決っていませんが曜日によっては
午後1:00~入浴しまーす。



入浴後はくつろぎながらの
ティータイムで~す。
(うん、おいしい!!)



PM4:00

それぞれの家庭に向けて出発~。
次の利用日までしばしのお別れ。



※デイサービスを希望される方は、各町村役場
福祉担当課又は高森寮にお問い合わせのうえ、
利用申し込みを行ってください。

グループホーム“高森”

障害があっても「普通の場所で普通の生活をするのが当たり前」という考えでスタートしたのがグループホームです(平成12年10月1日認可)。高森町内の住宅において、4名の方が食費、家賃、光熱費等出し合って生活しています。産交バスで通勤し、昼間は高森寮の仕事をしています。高森寮の職員が色々な面でサポートし、ホームには専任の世話人さんがいて、買い物を含めた朝夕の食事の準備等を皆さんと一緒にしていただいています。

今回はそんなグループホームで生活をされている方、そして世話人さん(3名)にグループホームでの生活の様子、自分



「グループホームでの生活」 渡辺 将雄さん



平成12年10月から、高森町下町の、グループホーム高森で、新たな生活が始まりました。生活開始後、2年を過ぎようとしており、早いものです。僕は生活にもなれました。

ホームでは、毎日、一人1週間ずつ食事当番があり、いつも朝晩と楽しみながらやっていますし、皆さんも、頑張っております。夜は欠かさず日記を書いています。内容は仕事に関する事等がほとんどです。でも、時にはホームでの出来事も書いています。さらに、世話人の岩下さんに詩をすすめられ、つい最近詩を始めました。これは日記の文を生かして一句ずつ作り、結構面白いです。だから趣味がまた一つ増え、好きな事をする時が、僕にとってお気に入りの時間です。テレビ番組もみんなで見たいものがあります。洗濯も、何人かでやり、洗い終わってから干す時にしても、賑わい楽しい様子です。会話も、寮での事等が中心になっていますし、僕も特別に何かあったこと等があれば、話題にしております。日曜日は、休日で午前中は自分の各担当場所の掃除をしています。一方、第2日曜日は、大掃除で、外廻りを掃いたりや、除草をしたりしています。外廻りは何と言っても、落ち葉がすごいです。あと心がけている事と言えば、玄関の靴揃えです。

「グループホーム ある日のこと」

岩下 祐美子さん

世話人さん

「こんにちは。Aさん」とホームへと入る。その日Aさんは半休の日「帰っているのでしょうか」とお茶の間へ行くと思われぬ。「ウワッ」と外を見に走ろうとっていると、目をクルクルされてニコニコと出てこられる。「ヌッ」時々かくれんぼされるのです。今度は「もういいかい」と呼びかけなくては…。でも廊下もきれいに拭かれ玄関も掃かれています。Bさんは「おばさんきれい」と言われ「えっ、そんな」と思うや否やテレビのチャンネルが変わっている。またもみんなで大笑い!!Bさんも「してやった」と一緒に笑っていられる。でもよく気が付かれホームの雰囲気を楽しませて下さいます。CさんもDさんも大変几帳面です。野球も時々解説して頂き野球ファンになりました。それやこれやで四人のホームの皆さんの純粋で美しい心に支えられて楽しく優しく務めさせて頂いています。古えからの契りでしょうか。大事に大事にして務めて参りたいものと思っております。

「出会い」

佐竹 イマさん

世話人さん

三年前高森寮よりグループホームを作るからその世話人になってもらえないかとの話をうけました。グループホームとは何ですか?今まで耳にしたこともない名前でした。どんな事をしたらよいかわからないままに自分の当番は日曜日でした。私の様な者でも人の世話が出来るのだろうかと不安の方が先でしたおそろおそろ当番の日に行ってみました。玄関に入りおはようございますと云うか云わないうちに男性四人揃って玄関まで迎えに出て待っていてもらいました。本当に私の孫の様な4人に私が何をするのかを教わりながら一日が過ぎ夜の自由時間が来ました。自分達がしている仕事の話をして一人一人聞かせてもらい始めての一日が終わり帰宅の時間が来ました。また来週来るからねと約束して次の週に行くと母親にでも会ったように喜んでもらえます。あの時お断りしていたらこんなに素直な人に出会えなかったと思います。

近頃では日曜日が来て会う事が楽しみになりました。今からも4人の君達仲良くして行きましようね、そうして元気で頑張っていましよう。せっかく出会ったのですから!

「私の思い」

橋本 コキ子さん

世話人さん

平成12年10月に高森寮より、自立され町内に住所を移し生活される人たちの世話人のお話があり仕事を引き受けました。幸い皆さんとは永年生活を共にしてきた私です(高森寮を平成8年退職)。お顔も性格もよく知っています。皆さんはバスで寮へ通勤・養鶏と農作業の仕事がされているようです。養鶏は飼料作り堆肥出し等忙しい毎日です。農作業では大量のスイートコーンを作り植付面積も広く作業も大変忙しい様子。またホームでの生活は各自部屋を持ち掃除洗濯は毎日の日課です。食事の方は、食品の買入れ、季節の野菜旬の魚果実等楽しいショッピングの時間をもっています。料理作りも献立通りには出来ない事もありますが、健康に注意しながら一番楽しい食事の時間を大切に、明るく元気に過ごせるホームでありたいと願っています。

祝・準優勝!!

9月8日(日)に菊陽町で行われた熊本県障害者親善スポーツ大会(ペタンク部門)に、グループホームの金森正博さん、後藤今朝雄さん、渡辺勇治さん、渡辺将雄さんの4名が出場し5回の試合を勝ち抜き、見事、準優勝の結果を残すことができました。試合を重ねる毎に投球に安定が見られるようになり、決勝戦も同点の末の延長戦での惜敗でした。



くらしとボランティア

園芸作業

園芸作業は、利用者10名職員3名で日々に一緒に活動しています。活動の中心は、花壇作り、空き缶リサイクル、町のトイレ掃除、寮まわりの環境美化です。その他腐葉土づくりやチャボ飼育等しています。活動風景は写真で説明します。



〈腐葉土作り〉



花作りには腐葉土がいちばん!? 息の合った仕事ぶりです

〈環境美化&腐葉土づくり〉



落ち葉を掃いて集めて腐葉土づくり一石二鳥です!!

〈花壇づくり〉



季節ごとに見事な花を咲かせています。寮、花壇の花は全部種から育てました。たくさん花壇を作っています。

〈町トイレ掃除〉

湧水館、千本桜、高森峠、山村広場のトイレ掃除をしています。利用される方きれいに使ってほしいです!!



〈缶リングプル取り(缶のフタ)〉



目標800kg何年か後には車いすがくるよ! 仕事は楽しくなくちゃ!!

〈花壇づくり〉

花よりも草の方が茂りすぎて、草取りがほぼ毎日かな!



食 事

寮での食事は、栄養士を始めとした厨房の職員によって毎日作られています。利用者一人一人の健康を考え、趣向を凝らした料理が並んでいます。

食事はセルフサービスになっていて、皆さん自分の好きな分だけ食器につきぎ分け食べられます。中にはダイエツト食や噛むことが困難な方のためにみじん切りにしてある食事も用意してあります。

また、年間行事の一つとして十二月には成道会があり厨房職員の手作りで、食堂のテーブルには沢山の御馳走が並びます。季節ごとにいろんな催しがあり、利用者の方も職員もそれを楽しみにしています。

厨房の皆さんあーん!!
今後ともおいしい食事
お願いします。



〈成道会(お釈迦様が悟りを開いた日)〉
沢山のご馳走を前に“生つば”
ゴクン!!これはみんなの手
作りですよ!!



みんなが食べた食器は私が洗
って、洗浄機にかけてまーす。
(小島幸代さん)



今日はお腹が空いたんでちょ
っと多めにいただきま〜す。
(佐藤久代さん)

《夕食配食サービスを始めました》

高森町が実施している配食サービスのうち草部・野尻地域のお弁当は、高森寮で調理することになりました。利用ご希望の方は地域の民生委員にご相談下さい。(65歳以上の一人暮らしの方や、高齢者のみの世帯の方などが対象となります。)

こんにちは高森寮さん

心のふれあい

シニセンツセンターアスカ
色見 信代さん

高森寮の皆様には、高森寮発足当時からずっとお世話になっております。

皆さんとは店で会ったときはもちろん、道ですれ違ったときも必ず笑顔で手を振ったり、肩にふれたりしてあいさつをするくらい仲良くなっています。新しく入寮された方が最初は知らんぷりをしておられても、何度も話しかけているうちに表情が明るくなり、笑顔がかえってくる。こちらもうれしくなります。真心から接していくと、心が通じてくる。何を何度も体験しています。

寮では、自立の取り組みがいろいろとなされています。職員さんがついて来られなくて、利用者の方だけで買物に来られることがあります。メモを持って、自分で選んで、お金を払いおつりをもらって、バス停まで歩いていって、バスで帰られます。とても楽しそうです。また男性四人の方が、私の自宅近くに家を借りて仲良く生活しておられます。時々会いますがとても楽しそうです。女性二人の方も家を借りておられます。その内一人の方がアスカで仕事をされていて、いつも冗談を言い合っています。

日曜や祭日には、家族の方が面会に来られ、一緒に買い物に来られます。

「健康に気をつけて、一回でも多く子供に会いに来るように心がけています。」と言われるのを聞き、子を持つ親として親の気持ちごとくもわかります。また、寮には知的障害者デイサービスができて、

南阿蘇の今まで在宅だった方々が高森寮で楽しく過ごすごとができて大変喜んでおられます。デイサービスの帰りに買い物によられて、うれしそうに話をして行かれます。

私共店の者も、少しでも皆さんの役に立つ店として、これからも努力してまいります。



楽しいお付き合いです

ハークロフトセンター
岩下 由美子さん

高森寮とのお付き合いは以前義父が20余年理容奉仕をしていたことに始まり、私も5年間施設職員として働き、その後結婚しその嫁ぎ先が理容店ということもあり、今では店員とお客様という立場でのお付き合いが続いています。

「こんにちは」と元気よくお店に入ってきて来られ、待合いソファに座るなり、新聞雑誌を見られたり、仕事の話や昔懐かしい話、職員さんの名前を言われたり、それはとても楽しそう。私も毎回来られる時の楽しい情報、近況報告を聞くのが楽しみになっています。

そして、いざカットが始まると、決まってテレビで時代劇「水戸黄門」が…。そうです、ご存知Tさんが身体を揺さぶりオッコツと声を上げられお侍に変身、その世界に入り込まれ、店内は大笑いでした。皆さんが本当に個性のある方ばかりで、周りの雰囲気や和ませておられるのは確かな事だと思えます。帰りの際には必ずと言っていいほど握手や肩を撫でて「また、来ます。」とスキシップをされて帰って行かれます。嬉しくありがたいものです。

今後、利用者の方が地域に頻繁に外出し、交流することで、地域の人々の理解を深められることを願い、私も微力ながら少しでもそのお手伝いが出来ればと思っています。



保護者の声

自立へのみちのりは 遠いけれども

渡辺 民雄



南阿蘇の素晴らしい大自然の中に、高森寮として阿蘇郡では初めて知的障害者の為のデイサービスセンターがオープンし、私の弟はそこを利用させていただいています。

弟は、私とは五歳ちがいであり、すでに五十歳を過ぎました。生まれつきの知的ハンディを持ち、中学校を就学猶予し、その後菊池肥後学園へ進み、しばらくは学園から黒石原の養鶏農家へ手伝いに行へようになりました。その時から「ニフトリ」とのかかわりがあり、いまでもその世話が続いていることを考えると、弟にはこの仕事为天職なのかも知れません。

高森寮を利用するようになって、弟は見違える程成長しました。先ず、他人とあまり会話が出来なかつたのが、今は彼との会話がかなり出来るようになったことです。また、自分が仕事をしているという自信が出来てきたと感じます。それは、毎日の行動や顔つきを見て判ります。他にも色々と感じますが、だからといって、一般社会の中へ放出したとき、生きて行けるかというところ、そうした訳にはいきません。

今、高森町内のグループホームからデイサービスセンターを利用しながら、寮の養鶏作業を頑張っています。いよいよ十五年四月から支給費支援制度がスタートし、利用者、施設、市町村の相互関係によって、サービスの提供を受けることとなります。どんな仕組みであっても、障害者が安心して暮らせる社会であるように私たち保護者は精一杯の支援をしていきたいと思えます。

職員の声

ひととき

宇藤 育三



昨夜の飲ミニユケーションのせいか、朝の太陽が一段と眩しく感じて出勤する。

まだ、居室では朝起きる苦手なY君が布団にもべり込んで夢中である。「パタ、パタ、パタ」と、小走りのスリッパの音が廊下の奥から近づいてくる。「トン、トン」と職員室のドアを叩く音に振り向く。早起きのS子さんが、笑顔で「おはよう」といきりに手を振る姿がある。軽く手を挙げ会釈をする。部屋の椅子を捨てに行く途中のようである。

ドアの影から、「オハヨ、オハヨ」と男性の声がガラス戸越しに聞こえる。日に一度は顔を見せに来るKさんである。

「Kさん、おはよう。」と声をかける。いつものパターンで何事もなく、すまし顔で去っていく。

出勤簿押印に事務所に向かう。途中、ホールでミニユースを見たり、話し込んだり様々な朝のひとときの光景が映る。挨拶をしながら、また職員室にもどる。

「スー、スー、スー」の音で振り返る。いつの間にか、「忍びの術」が得意技の、N美さんが立っている。「オッ、N美さん、オハヨ」と声をかける。「三回部屋を往復、ドアと備え付けのソファに座り、飾つてある花を興味深く眺め触れようとする。花の「乱れ生け」、「植木鉢の植え替え」、「も得意なNさんでもある。」

間髪入れず、自立棟生活のMさんが「廊下の電気が消えているから、替え」と依頼に来て、「忘れんごとなー」言葉を吐く。

今日は職員朝礼時に読む本の順番である。予習もできず、多少の不満を持ち職員室にいたN美さんと部屋を出て、ホールで別れて朝礼に向かう。これが始業前の…ひとときを過ごす。

き…で一日の始まりでもある。

これまで、私的に何度か気分がすくえず出勤したことがある。こんな光景に度々遭遇することで、嫌な事も忘れ気分よく仕事に精を出すことが幾度となくある。

無知の世界であった、福祉の仕事に携わって早十年を経過しようとしている。右往左往しながら、手探り状態であったが、今では利用者の話し相手ができるくらいまでには、自分なりに成長したように思う。

「花を見る。花も見ている。」の如く、お互いの心に向かい合い、信頼しあえ互いに、豊かで希望がもてる生活支援に今後も努めていきたいと思っている。

高森寮で仕事をして 思うこと

後藤 裕子



私が朝出勤すると朝食も済み、皆さんホールでテレビを見て寛いでいらつしやいます。そこで私が「おはようございます。」と挨拶をすると、皆さん笑顔で「おはよう!!」と答えてくれます。私も、利用者の笑顔を朝から見ると何かパワーをもらったようで元気になれます。

寮内の利用者の仕事として、養鶏・園芸・洗濯・歩行と大きく4つあります。それぞれ利用者に合った仕事を提供し支援しています。

先日昼食を兼ねて前庭で手作りのソーメン流しを作ってもらい、35名の利用者と職員で楽しみました。和気藹々で利用者の方も自分でできる方はソーメンをすくって食べていらつしやいました。またできない方は、職員が支援して食べていただきました。とても賑やかでいつもよりちょっと違う昼食でした。利用者の方も満足されていたようです。

私の思いは、もっと地域へ出て地域の方々といろんな情報交流をし、高森寮の取り組みを知ってもらい、私なりにもっと色々な体験をし仕事に役立てたいです。

ほほえみコーナー

利用者のいい顔を紹介します!!



森 武司さん

昭和17年2月10日生 熊本市出身 60才

いつも笑顔の森さん! この写真は、一泊旅行で霧島方面に行った時の写真です。西郷公園でハイ・ポーズ!!

Q、森さんは毎日どんな仕事をしていますか?
A、「リングを取るだろっね」

(森さんは主に寮周辺の掃き方や花の散水、空き缶潰しをされています。リング取りとは空き缶のフタ取りのことです)

Q、何をしているのが楽しいですか??

A、「買い物だろね。」

Q、買い物はどこでするんですか??

A、「アス力だろ」

Q、アス力にはカワイイ店員さんいらつしやいますか??

A、「うんーまあまあだろ。」

(森さんはアス力にお気に入りの店員さんがいるようです。)

Q、好きな食べ物は何??

A、「ハムだろね。」

Q、最後にこの写真の写らせたお話を聞かせてください??

A、「上等たこー上等たこー」

シリーズ

『苦情解決委員会』

からの報告

■相談内容

ホールにテレビはあるが、自室でゆっくりお茶を飲みながら見たいので、部屋にテレビが欲しい。

■解決方法

以前Oさん宅より、家に使用しないテレビがあるので高森寮で使ってくださいとの連絡があつていたことを思い出し、早速電話を入れテレビをいただくことにした。

■苦情に対する結果

テレビを設置したことで、皆さんコタツに入りテレビを見ながらお茶を飲まれたり、雑談をされたりとゆっくりくつろがれている。

※これまでに六件の相談がありましたが一掃で寮内で解決しました。

編集後記 (ほほえみ会の声)

口口に寒さも加わる中、第2号“ほほえみ”を今回無事発行することが出来ました。創刊号発行後、「次号はまだ出ないの?」と催促の声等が聞かれ、作成している私たちにとって大変励みとなりました。

今回も皆さんに楽しく読んで頂けたら、編集部一同嬉しく思います。

次回は、翌年四月発行予定です。

スタッフ一同

高森寮だより ほほえみ

■編集/高森寮広域委員会 ■発行/高森寮

第2号平成14年11月発行

〈住所〉熊本県阿蘇郡高森町色見922

TEL 0967-62-1780 FAX 0967-62-2368